


Saint-Care

を志す人へ



RECRUITING BOOK



お客様と向き合って
お客様と手を取り合う。
それがセントケアの考える
介護。というサービスだ。

お客様にはいつまでも、
住み慣れた街、
住み慣れた家で過ごして欲しい。
お客様ひとりひとりの願いに
しっかりと向き合いたい。

そんな想いで、かすかな声を
ひろいあつめて
数多のサービスを手掛けてきた。

穏やかに過ごすための、訪問サービス。
明るく過ごすための、デイサービス。
快適に暮らすための、住宅リフォーム。
その他、多彩なサービスの数々。

ひとりひとり、
ひとつひとつの地域とともに
私たちは、私たちが志す
介護を提供し続ける。



どの街にも
同じ「セントケア」は
存在しない。

それは、
セントケアが地域の
色に合わせ
形を変えているからだ。
例えば、

ある街では、
近くの公園へ出かけ
子どもたちとふれあう。
ある街では、

近くの商業施設へ出かけ
イルミネーションを見に行く。

お客様が本当に求める
介護を提供する。
それが、セントケアの誇りだ。

セントケアのスタッフ達は、
歩みゆく。
道なき道を各々、
この誇りを胸に。



ひとりでたくさん、仕事を抱えて、
毎日ばたばた忙しい。
そんな印象の「介護」。

悩みを抱え込んで、誰にも相談できず
辞めてしまう人もいる。

でもセントケアには、明るく、
いきいきと働く人がたくさんいる。

それはきつと、いくつもの選択肢の中から
自分にあった働き方や仕事を選べるからだ。

たとえ失敗しても、次、またがんばろうと。
落ち込んでも、すぐに誰かがやって来て、
手を差し伸べて、勇気づけてくれる。

「あなたらしく」いられる。

その人らしく働き続けられる。

それは、セントケアの社風であり、
深く根付いた文化である。



セントケアでは、
色々な人が活躍している。

それは、会社がひとりひとりの
スタッフを支え、

その個性を尊重し、

活かそうとするからだ。

それゆえ、セントケアの「介護」は

スタッフたちの個性によって

形づくられてゆく。

あるスタッフは、学んだ知識を活かして
新事業に挑んでいる。

あるスタッフは、入社二年目で
営業所の所長に抜擢された。

あるスタッフは、
マネジメント経験を経て

本社でスタッフ達のサポートをしている。

未来の「介護」を形づくるスタッフ達を
会社が、仲間が、

支えて後押しする。

だからこそ、セントケアでは

色々なスタッフがその人らしく

やりがいを持ちながら働き続けられる。



わたしらしさがサービス

私が「働いていて楽しい」と思えるのは、わたしの〓人好き〓な個性が笑を結ぶからだ。現場にいた頃も、本社に来た今も。

昔、訪問介護の現場で働いていたとき、〓人好き〓は私自身にも、お客様にも、スタッフにもいい影響をもたらした。お客様やそのご家族とは、まるで孫や娘のように親しくなり、スタッフとは、何時間もかけて話し合い、仕事のやり方を改善した。

母になり、現場を離れた今だって変わらない。スタッフの教育を担っていても、スタッフに積極的に話しかけて、悩みを聞いて、アドバイスして、落ち込んでいたら、慰めて勇気づける。

そうやって私が関わることで、スタッフが笑ってくれて、楽しいと思ってくれる。そしてそのスタッフが、やがてお客様やそのご家族を笑顔にしてくれるのだ。

人と関わるのが好きで、この介護の業界に入って、振り返れば私の日々は〓私らしさ〓であふれていた。そしてそんな私を、会社は受け入れて、大切にしてくれた。

私らしく活躍できる環境、あたたかい社風、皆の笑顔。これからも私は、私らしく働けるこのセントケアで、精一杯過ごしていく。



なまえを呼ばれる喜び

デザイナービスに初めてやって来た山本さんは、僕に言った。

「ここがどこなのかわからない」「俺は家族に捨てられたのか」と。

こういうことは初めてじゃない。デザイナービスを嫌がるお客様は少なくないのだ。

僕はすこしずつ、話しかけた。

「今日、暑いですね」

……返事はない。

「仕事は、何をしてらしたんですか」

……返事はない。山本さんは今日もしかめ面だ。

例え、答えてくれなくても、僕は声をかけ続けた。

「歴史、好きなんですか」

……返事はない。でも、山本さんの表情は少しほころんだ。

そうして1カ月、2カ月が過ぎたある日、嬉しいことが起きた。

送迎車から降りた山本さんが、「加羽澤くん、ありがとう」と、

僕の名前を呼んでくれた。

そして玄関から車が見えなくなるまで、いつまでも、いつまでも

笑顔で手を振ってくれたのだ。

山本さんのご家族は目を丸くして「おじいちゃんがこんなことをするなんて！」

と驚き

「セントケアさんに頼んで、本当によかった」と言ってくれた。

なまえを呼ばれるということは、信頼してもらえた証。

それは僕にとってこの上なく嬉しい、唯一無二のやりがいだ。



一生を賭けて悔いのない
自信と誇りの持てる生き方・仕事がしたい

ひとりひとりのスタッフが、
強い志とやりがいを持ちながら
セントケアでの日々を過ごしている。

お客様ひとりひとりの
“今”に向き合う、充実した日々。

全国各地で、
「こんなにも日々やりがいがあるのは
介護だけじゃないかなあ」と、
自信と誇りを胸に、支え合い、進み続ける。

この誇り、
この喜び、
このあたたかさ。

…：私たちがこの一冊に詰め込んだ想い
どうか、あなたの心に届きますように。

